

# 環境活動レポート

2018年度

活動期間 : 2018年 4月 ~ 2019年 3月

発行日 : 2019年 6月

見直し改訂 : 2019年 9月 26日

株式会社 五月商会

## ごあいさつ

「大量生産・大量消費・大量廃棄」の社会システムが地球環境破壊を進め、深刻な環境問題をもたらしました。  
この問題を解決するためには、私たちは、生活のバランスを考慮して、社会経済活動のあらゆる面で、環境への負荷を減らし、資源環境を基調とする循環型社会へと転換 してゆく必要があります。

私たちは、あらゆる局面で全ての人達と強調することによって、持続可能な発展をなすべく努力をし、地球環境問題に対応しなければなりません。

当社は産業廃棄物の収集運搬を主要事業としていく中で、少しでも環境面での負荷を減らしてクリーンな地球を子孫に残すべき努力をしていくことを経営の基本理念として取り組んでまいります。

ここに、本年度の当社環境改善活動の結果をご報告し、みなさまのご意見を仰ぎたいと存じます。

2019年 6月

株式会社 五月商会  
代表取締役 宮崎 貴規

# 1. 組織概要

- (1) 事業者名 : 株式会社 五月商会
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 宮崎 貴規
- (3) 所在地 : {本社} 三重県鈴鹿市国府町石丸7751-6  
: {現場事務所} 三重県鈴鹿市大池3丁目1841番12
- (4) 事業内容 : 産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物収集運搬、並びに清掃請負作業

(5) 資本金 : 1000万円

- (6) 沿革 : 昭和35年 5月 創立
- : 昭和48年 12月 鈴鹿市一般廃棄物収集運搬業許可取得
- : 昭和50年 7月 三重県産業廃棄物収集運搬業許可取得
- : 昭和55年 4月 清掃管理委託契約
- : 平成17年 7月 愛知県産業廃棄物収集運搬業許可取得
- : 平成23年 12月 本社新築
- : 平成25年 11月 M-EMSステップ2認証取得
- : 平成26年 5月 三重県産業廃棄物収集運搬業優良認定許可取得
- : 平成27年 7月 愛知県産業廃棄物収集運搬業優良認定許可取得
- : 平成28年 4月 現場事務所移転

## (7) 事業の規模

- ① 売上高 : 245百万円(平成30年度)
- ② 従業員数 : 22名(内適用範囲7名)
- ③ 敷地面積 : 本社 395平方メートル、現場事務所 1523平方メートル
- 延床面積 : 本社 410平方メートル、現場事務所 76平方メートル

## (8) 許認可一覧

許可の内容	有効期限
産業廃棄物収集運搬業許可番号 : 02403014187 許可年月日 : 平成26年 5月 2日	平成33年 5月 1日 自治体名 三重県
産業廃棄物収集運搬業許可番号 : 02300014187 許可年月日 : 平成27年 7月 19日	平成34年 7月 18日 自治体名 愛知県
一般廃棄物収集運搬業許可番号 : 第1752号 許可年月日 : 平成30年 4月 1日	平成32年 3月 31日 自治体名 鈴鹿市

## (9) 取扱い廃棄物

廃棄物の種類	収集運搬	備考
産業廃棄物 三重県	燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、がれき類、ばいじん 以上10種類	収集運搬業のみを事業としている
産業廃棄物 愛知県	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上8品目	
一般廃棄物 鈴鹿市	紙屑、衣類、生ごみ、絨毯、布団、ジュースパック、綿手袋、木屑落葉(枝)、吸殻、ダンボール	

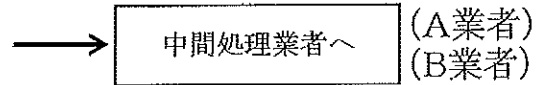
・処理実績

処理実績		単位	2016年度	2017年度	2018年度
廃棄物収集運搬量	産業廃棄物	t	169	210	263
	一般廃棄物	t	266	267	353

・受託した産業廃棄物の種類

H30年度 産業廃棄物の種類別実績

廃棄物の種類	収集運搬量 (t)
廃プラスチック(A業者)	231
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず (A業者)	3
がれき類 (A業者)	7
廃プラスチック(B業者)	22
小計	263



・運搬車両の種類と台数

車両の種類	台数	最大積載量(kg)	備考
トラック	4台	4000～	一般・産業廃棄物
トラック	1台	1500	一般廃棄物
パッカー	5台	2750～2900	一般・産業廃棄物
ダンプ	1台	3850	一般・産業廃棄物
軽トラ	1台	350	一般・産業廃棄物

・処理施設、積み替え保管施設

処理施設、積み替え保管施設はなし

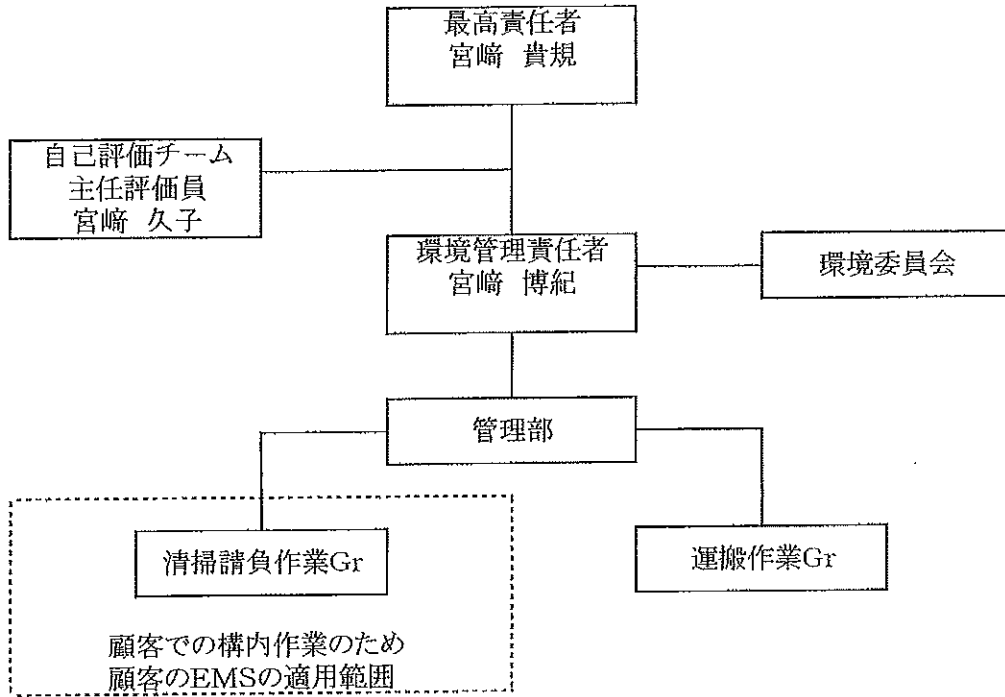
・処理工程図

収集運搬業のみのため、処理工程図は記載せず。

(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物の内容、回収形態等により、その都度見積もりを行う。

(11) 環境活動の取組体制



※顧客のEMSの適用範囲なので  
当社のEMSの適用外とする

環境管理責任者： 管理部長 宮崎 博紀

連絡先： TEL 059-378-0713 FAX 059-378-9850

## 2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS登録証 M-EMS2W-0012 KES2W-5-0012

認証取得： 2013年 11月 1日

登録日： 2016年 11月 1日

有効期限： 2019年 10月 31日

登録番号： M-EMS2W-0012 KES2W-5-0012

(2) 登録範囲

本社、現場事務所における廃棄物収集運搬(一般・産業廃棄物)

(3) 対象事業所

本社・事務所  
現場事務所

三重県鈴鹿市国府町石丸775i-6  
三重県鈴鹿市大池3丁目1841番12

### 3. 環境宣言

## 環 境 宣 言

### 基本理念

株式会社 五月商会は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

### 方 針

株式会社 五月商会は、産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬及び清掃管理に係る全ての活動、製品及びサービスの環境配慮するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。尚、環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - (1) 車両燃費の向上
  - (2) グリーン購入の推進
  - (3) 産業廃棄物収集運搬業務点検
  - (4) 電力使用量の削減
  - (5) 事業所周辺の清掃活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるようにこの環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県および鈴鹿市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2013年 6月 1日  
改訂日 2017年 5月 31日

株式会社 五月商会  
代表取締役 宮崎貴規

## 4. 環境改善目標

### 2018年度以降の改善活動計画と実績

NO	環境改善目標	単位	基準年度実績 (2017年度)	2018年度	2019年度	2020年度
				上段:目標値	上段:目標値	上段:目標値
				下段:実績値	下段:実績値	下段:実績値
1	車両燃費の向上 7.38km/ℓ(2%の向上)	km/ℓ	7.24m/ℓ <small>2016~17年度実績の平均</small>	7.24km/ℓ(基準年度の維持)	7.31km/ℓ(1%向上)	7.38km/ℓ(2%向上)
				7.47km/ℓ		
2	グリーン購入の推進 1品目/月	品目	12品目 月1品目	12品目/年	12品目/年	12品目/年
				12品目/年		
3	産業廃棄物収集運搬 業務点検 点検項目平均100点以上	点数	平均100点	平均100点	平均100点	平均100点
				平均100点		
4	電気使用量削減 11,779kWh(2%削減)	kWh	12,019kWh <small>2016~17年度実績の平均</small>	11,899kWh(1%削減)	11,899kWh(1%削減)	11,779kWh(2%削減)
				11,972kWh		
5	事務所周辺の清掃活動 1回/月	回	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
				12回/年		

#### 環境改善目標について

- ①電気は、使用場所が限られ使用量も少ないが、CO<sub>2</sub>削減に繋がる重要な項目と考え環境改善目標に入れ、使用量の削減に取り組んでいる。
- ②グリーン購入(調達)は、清掃用品、事務用品などを購入する際、計画を立てエコ商品の購入の促進に努めている。
- ③水の使用量に関しては、使用量が少ないので管理項目としての対応で使用量削減に努めていく。(改善目標としては取上げない)
- ④自社廃棄物は、少量(一般廃棄物として100kg/年。産廃はなし)のため、環境改善目標に取上げていないが、管理項目としてその排出量の削減活動を進めている。
- ⑤化学物質に関しては、その使用実績がありません。

## 5. 環境改善目標とその実績

### ① 2018年度環境改善活動実績 (期間 :2018年 4月 ~ 2019年 3月)

環境改善目標	施策	項目	単位	目標値	実績値	評価
1. 車両燃費の向上 基準年度の維持	・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・収集運搬ルートの見直し	燃費	km/ℓ	7.24	7.47	A
2. グリーン購入の推進 1品目以上購入/月	・事務用品・作業用品を 購入時、リサイクル品を 選ぶ	購入品数	品/年	12品/年	12品/年	A
3. 産業廃棄物収集運搬 業務点検実施項目 平均100点以上	・作業点検の実施 ・異常項目の修正・指導	産廃 業務点検	点/年	100点/年	100点/年	A
4. 電気使用量削減 基準年度の1%削減	・待機電力の削減* ・適切なエアコンの温度設定 ・ブラインド活用	使用量	kWh	11,899	11,972	B
5. 施設周辺の清掃 毎月1回	・従業員による清掃活動	清掃回数	回/年	12回/年	12回/年	A

評価記号 A:良好(100%以上) B:やや不足(90%以上) C:不適合(90%未満)

### ② 2018年度 CO<sub>2</sub>削減目標及び実績

削減項目	単位	2018年度		削減率 (目標に対する増減)
		目標	使用実績	
自動車燃料使用量の削減(軽油) (2017年度比: 現状維持)	ℓ/年	6,453	6,398	0.9% 減
	kg-CO <sub>2</sub> /年	16,906	16,762	
自動車燃料使用量の削減(ガソリン) (2017年度比: 現状維持)	ℓ/年	8,477	9,210	8.6% 増
	kg-CO <sub>2</sub> /年	19,666	21,367	
電力使用量の削減 (2017年度比: 現状維持)	kWh/年	11,819	11,972	1.3% 増
	kg-CO <sub>2</sub> /年	5,744	5,650	
二酸化炭素総排出量 (合計)	kg-CO <sub>2</sub> /年	42,316	43,779	3.5% 増

排出係数 : 軽油2.62kg-CO<sub>2</sub>/ℓ、ガソリン2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓ、電力0.472kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
(出典 :平成29年度電気事業者別実排出係数 )

### ③ 管理項目での実績

No	管理項目	具体的施策	単位	実績	
				2017年度	2018年度
1	電力使用量の削減	エアコン等電気機器の保全管理	kWh/年	11,819	11,972
2	水の使用量削減	節水札の設置	m <sup>3</sup> /年	94	105
3	排出廃棄物の削減	事務用紙等のコピー使用量の削減管理	kg/年	120	100



## 5. 1 具体的環境活動の評価

### (1)【車輛燃費, 基準年度の維持】

今年、目標値を累積評価に設定し取り組んだ結果、年間通してほぼ目標達成出来た事、最終累積値も目標値を達成できた事は評価する。次年度は、累積評価では無く、1ヶ月ごと目標達成を目指す為、単月ごとの実績値で目標達成に向け努力していく事にしました。

### (2)【グリーン購入の推進】

今年も色々な物品を購入する際、カタログを利用し、商品を調べ、探したりと努力した結果、毎月目標を達成出来た事は評価する。次年度も目標達成に向け努力していきます。

### (3)【産業廃棄物収集運搬 業務点検実施項目平均100点】

産業廃棄物の収集運搬作業は、同じ担当者が日々作業に携わる事が多いがマンネリ化する事無く、日々点検項目を確認し作業をしている結果、目標を達成出来たと思うので評価する。次年度も引き続き目標達成に向け努めていきます。

### (4)【電気使用量の削減】

電気使用量の削減は、目標達成出来ず残念な結果に終わった。日頃マメに照明をOFFにしたり、エアコンの温度調節をするなど努力してきたがわずかに達成出来なかったため、次年度は更に削減の工夫、努力をして目標達成に向け努めていきます。

### (5)【施設周辺の清掃】

毎月の活動は、啓発活動と言うより日常業務のような、当り前に行われる作業のように実施しているのは評価する。次年度も引き続き活動を続けていきます。

## 5. 2 環境改善活動の今後の課題

○第2次中長期の1期目が終了したが、電力使用の削減がわずかに目標達成出来ず、残念な結果だった。

日頃、削減に向けかなり意識をして取り組んだ結果なので、少しショックだがまだ改善の余地はあると思うので、努力に期待したい。

○水の使用量、自社から出る廃棄物は年間を通して少量の為、環境改善目標に入れていないが、管理項目で数字の把握はしているので、日々少なくするよう努力していきます。

## 6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認している。関連機関からの指摘・指導・訴訟等は無かった。

## 7. 代表者による全体の評価見直しの結果

### 7.1 全体評価

システムの構築は、全般的にスムーズに運用され、現時点で見直す点はない。2019年もこのシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進する事。

### 7.2 見直し評価

環境宣言の変更の必要性 : なし

環境改善活動及び環境経営システム等の変更の必要性 : なし

以上